【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	近畿財務局
【提出日】	令和２年10月９日
【会社名】	極東産機株式会社
【英訳名】	ＫＹＯＫＵＴＯ　ＳＡＮＫＩ　ＣＯ.,ＬＴＤ.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　頃安　雅樹
【本店の所在の場所】	兵庫県たつの市龍野町日飼190番地
【電話番号】	0791-62-1771
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長　曽谷　雅俊
【最寄りの連絡場所】	兵庫県たつの市龍野町日飼190番地
【電話番号】	0791-62-1771
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長　曽谷　雅俊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社は、令和２年９月18日開催の取締役会において、子会社取得を行うことを決議いたしました。本株式取得は、特定子会社の異動を伴う子会社取得に該当するため、金融商品取引法第24条の５第４項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第３号、第８号の２の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

１．特定子会社の異動（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第３号）

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

① 名称　株式会社ＲＯＳＥＣＣ
② 住所　愛知県名古屋市名東区上社五丁目406番地
③ 代表者の氏名　代表取締役社長　矢本　洋一
④ 資本金　6,787万円
⑤ 事業の内容　工作機械、精密機器の開発、設計、製造、ファクトリー・オートメーションの企画、設計、施工並びにそれに附帯する機器の販売及び修理、産業用ロボット及びロボット装置の製造、販売他

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

	当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数	総株主等の議決権に対する割合
異動前	0個	0.00%
異動後	742個	100.00%

(3) 当該異動の理由及びその年月日

①異動の理由

当社が株式会社ＲＯＳＥＣＣの株式を取得することにより子会社となり、当該子会社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上にあたり、特定子会社に該当するためであります。

②異動の年月日

令和２年10月１日

２．子会社の取得（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第８号の２）

(1) 当該異動に係る特定子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

① 商号　株式会社ＲＯＳＥＣＣ
② 本店の所在地　愛知県名古屋市名東区上社五丁目406番地
③ 代表者の氏名　代表取締役社長　矢本　洋一
④ 資本金の額　6,787万円
⑤ 純資産の額　563百万円
⑥ 総資産の額　894百万円
⑦ 事業の内容　工作機械、精密機器の開発、設計、製造、ファクトリー・オートメーションの企画、設計、施工並びにそれに附帯する機器の販売及び修理、産業用ロボット及びロボット装置の製造、販売他

(2) 取得対象子会社の最近３年間の終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益

決算期	平成30年３月期	平成31年３月期	令和２年３月期
売上高	644百万円	825百万円	630百万円
営業利益	43百万円	42百万円	7百万円
経常利益	43百万円	41百万円	6百万円
当期純利益	27百万円	21百万円	19百万円

(3) 当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係　当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係　当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係　当社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社では、コア技術の活用による各種産業機器の開発・製造や、各種ディスペンサー等の厨房の自動化機器の開発・製造を事業とするインダストリーセグメントを、当社成長の主要な柱の一つと位置づけて、その拡大に注力して参りました。

一方、株式会社ＲＯＳＥＣＣは、主として自動車業界向けに、ウォータージェット技術、ロボット技術を生かした各種の自動化システムを企画・開発・販売するファブレス企業で、その技術を活かせる対象業界の拡大を狙っております。

そうした両社の経営姿勢や技術力は、親和性と相互補完性を共に有するところから、シナジー効果による双方の事業拡大が大いに期待できるものと考えて、同社株式を取得することといたしました。

(5) 対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社ＲＯＳＥＣＣの普通株式	620百万円
アドバイザリー費用等（概算額）	10百万円
合計（概算額）	630百万円

以　上